

はたらく人の創造性コンソーシアム

分散した就労環境でも
今まで以上の
コラボレーションと
スピードを
実現するために



本日のポイント

1 ovice（オヴィス）について簡単にご紹介

2 日本企業の働き方の実況感

3 Digital Employee Experience (DEX) ??

4 新しい働く環境を従業員に提供

5 まとめ

多くの従業員が望むハイブリッドワークを導入する組織は、従業員間コミュニケーションと彼らのエンゲージメント不足に悩んでいます。

従業員のニーズに応えつつ、従業員エンゲージメント&満足度を向上し、組織の生産性や業務効率を高め、それを顧客に還元し、ビジネスに貢献する、という好循環のために、

「バーチャルオフィスへの出社」という新しい働き方の有効性を考えます。

メタバースNo.1企業のoviceとは？

MISSION : We Give the World Flexibility

社名	oVice株式会社
所在地	石川県七尾市本府中町エ113 B
代表者	代表取締役 ジョン・セーヒョン
設立	oviceサービスリリース2020年8月
事業内容	メタバースバーチャル空間をグローバルにサービス展開
主な経営メンバーの略歴	Microsoft, Asana, Salesforce, Adobe, Datadog, Cloudera etc...
資金調達総額	45億円 (シリーズBフェーズ)



日本発だからこそ

グローバルNo.1を

実現できる

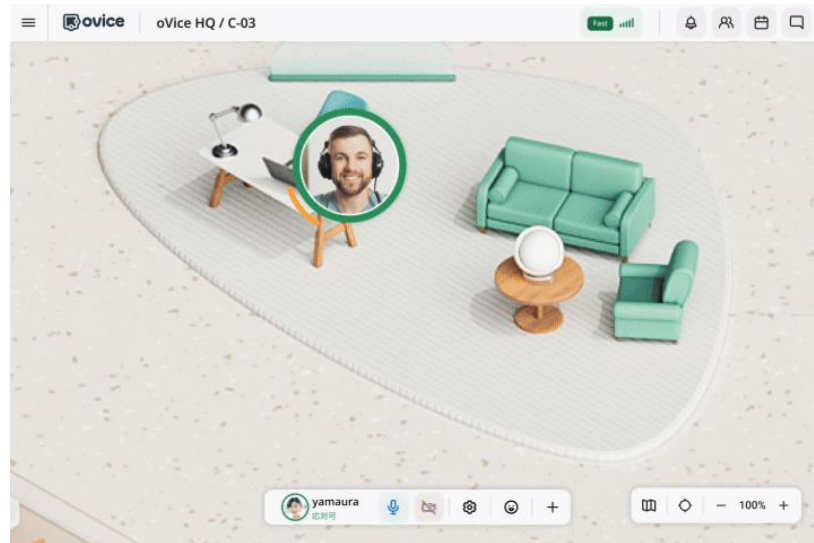
oVice COO
Hajime Tamura



Asana Japan株式会社 元代表取締役
ゼネラルマネージャーの田村元（通称：Jim）がCOO
（最高執行責任者）として入社



現実のようなコミュニケーションができる2次元の“バーチャル空間”



- 声かけ** アバターを近づけると声が聞こえる。離れると聞こえなくなる。
- 可視化** 誰と誰が話しているのか。誰がひとりなのか。各社員の現状が見える。

バーチャルオフィス
カテゴリ 満足度

No.1

有料登録ユーザー数

180,000人

利用企業数

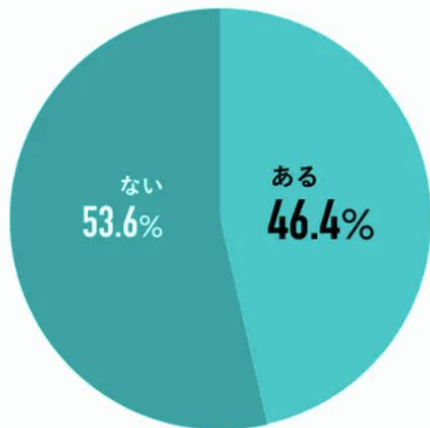
4,000社



直近の企業の働き方の実況

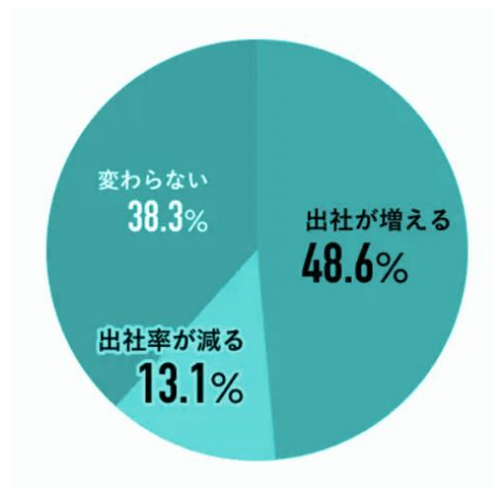


移行後の出社方針について会社から通達



通達は「ない」が最多で53.6%

出社方針はどのように変化しますか



「出社が増える」が48.6%

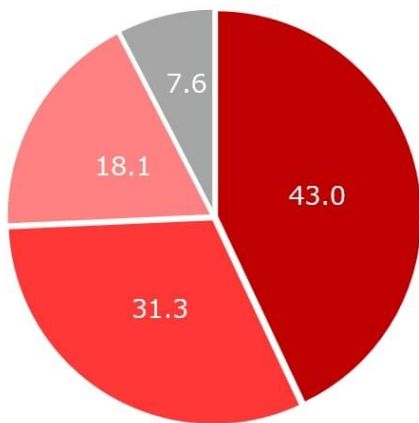
全体集計：757人

出所：「コロナ5類移行に伴う意識調査」

実態は100%オフィスでも、100%リモートでもなく、 混在した就労環境である (= ハイブリッド)

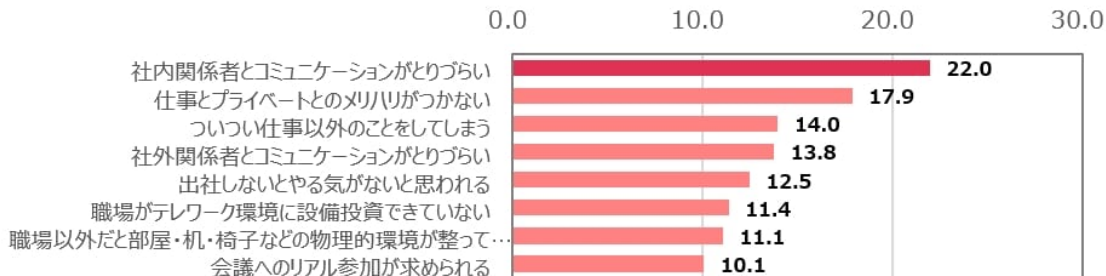
出社かテレワークか、従業員自身が選ぶことができるか (‘)

- できる (報告も承認も不要)
- できる (報告が必要)
- できる (報告かつ承認が必要)
- できない

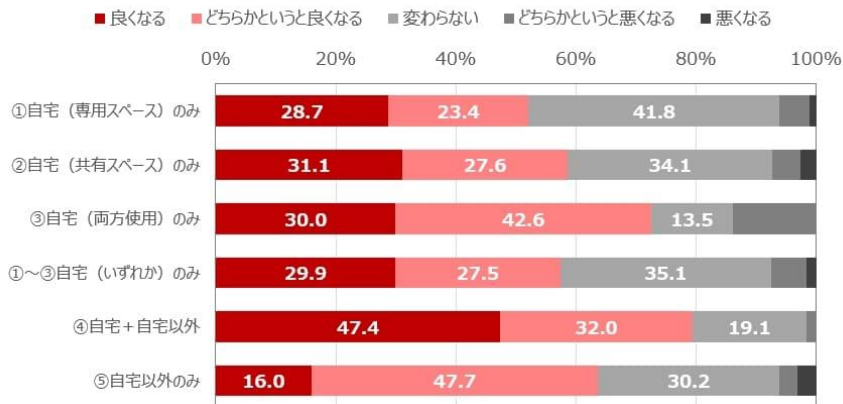


9割以上で従業員が働く場所の選択ができる

テレワーク中にしづらさを感じること (%)



テレワークをすることで、仕事の成果は良くなると思うかどうか (%)



<調査概要>

- ・タイトル: ワークスタイルに関する調査
- ・対象エリア: 全国
- ・調査対象: 20歳~69歳の会社員・公務員・各種団体職員2,000人
- ・調査方法: インターネット調査
- ・調査期間: 2024年2月26日~2月27日
- ・調査主体: レノボ・ジャパン合同会社
- ・調査実施機関: 株式会社ネオマーケティング

出所: ハイブリッドワーク実態調査2024

パンデミック (Covid-19) は何を変えたのか？

45%

リモートワークやハイブリッドワークのモデルが、一般的な働き方の一部に組み込まれる。

42%

インテリジェントなデジタル・ワークスペースは、場所、タイムゾーン、デバイスを超えた働き方として期待される。

36%

事業の成長とイノベーションの原動力としての従業員体験は、今後も最優先事項であり続けるだろう。

36%

クラウドベースの接続／デバイス／アプリケーション／サービスへの依存へのシフト

35%

反復的なタスクやワークフローの自動化は、ほぼ一般的に遍在するようになる。

34%

物理的なワークスペースは、ますます機器化され、相互接続され、インテリジェントになる。

24%

モバイルファーストによる企業リソースへのアクセス

設問

パンデミックから生まれた仕事のやり方や技術の進歩のうち、組織内で最も継続する可能性が高いものは何か？

出典：[ハーバードビジネスレビュー 2022/09](#)

ハイブリッドワークが一般的な働き方に組み込まれる

デジタル・ワークスペースは、場所・タイムゾーン・デバイスを超えた働く場所として期待される

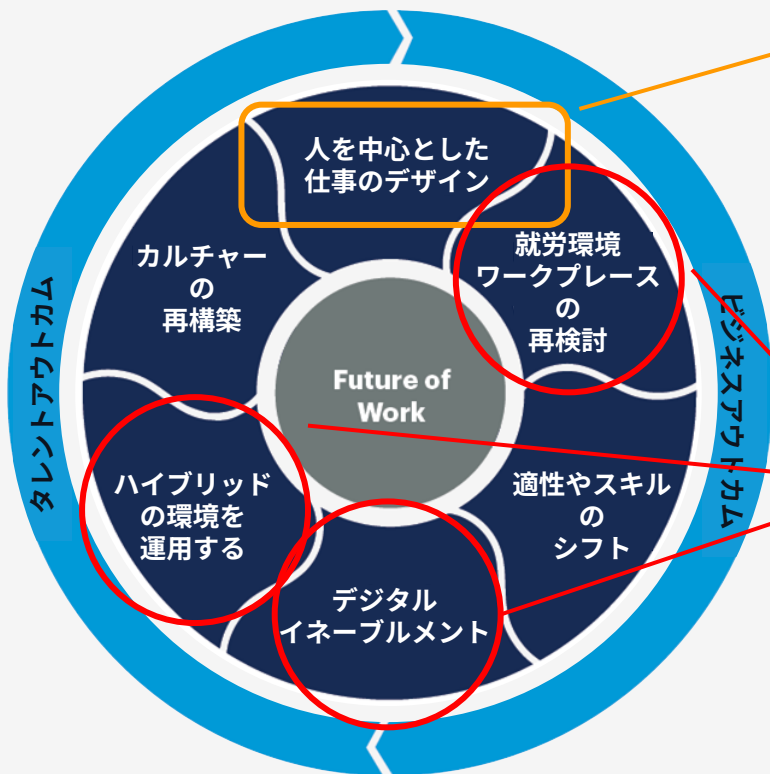
従業員体験が事業の成長とイノベーションの原動力であり今後も最優先事項であり続ける

ハイブリッドワーク
デジタルワークスペース
従業員体験



求められる仕事
の環境とは？

仕事の未来 - Gartner



出典 : [Gartner 2024](#)

Office-Centric Design

物理的な場所が、私たちが仕事をデザインする際の前提となる要素である。

Human-Centric Design

働く人それぞれが、私たちが仕事をデザインする際の前提となる要素である。

物理的な就労場所という制約条件を取り払ってデジタル上に新たな共通の就労場所を設定する

デジタルワークスペース Digital Workplace

オフィス勤務、遠隔地勤務、在宅勤務、ワーケーション、短時間就労など様々な就労環境でも格差・不利益なく働ける

ハイブリッドワーク Hybrid Work - ready

デジタルによって実現された新しい従業員体験

デジタル・エンployee・エクスペリエンス Digital Employee Experience = DEX

デジタル・エンプロイー・エクスペリエンス (DEX)



DEXとは？

ITによって提供されるデジタルワークプレイスでの従業員の全体的な経験。

DEXは、今日のリモートワークやハイブリッドワーク環境において、従業員がどのようにコミュニケーションやコラボレーションを行うか、また、組織のデジタルワークプレイスが従業員のニーズや嗜好にどのように合致するかに関わるため、**現代のビジネスにとって不可欠な**ものです。

ovice が提供するものは？

oviceは**デジタルワークプレイス**であり、デジタル従業員体験を形成するためのツール、プラットフォーム、環境を提供しています。

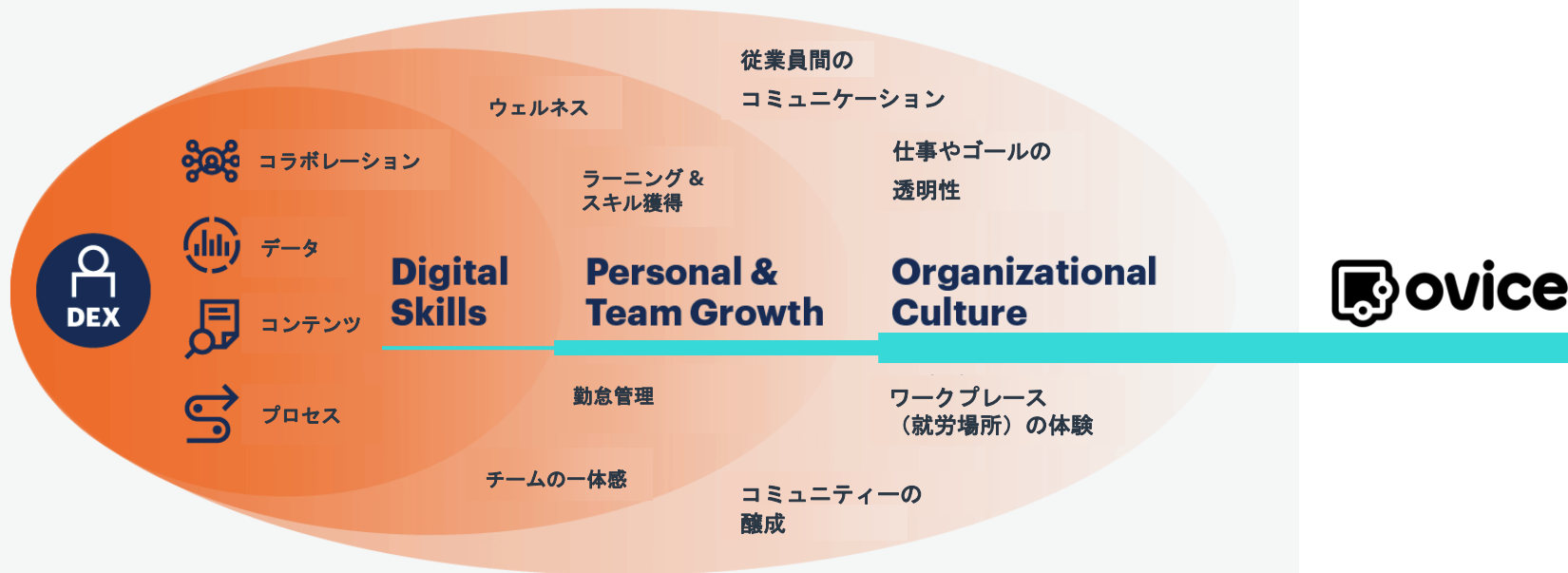
DEX 管理ツールとは違う？

e.g. Nexthink, VMware, etc.,

デジタル従業員エクスペリエンス管理ツールによって、従業員と職場のテクノロジーとのやり取りをすべて監視し、最適化することができます。その目的は、従業員が組織のソフトウェア、ハードウェア、クラウドベースのツールを使用する際に遭遇する可能性のあるあらゆる問題を特定し、対処することによって、ユーザーエクスペリエンスを継続的に改善することです。



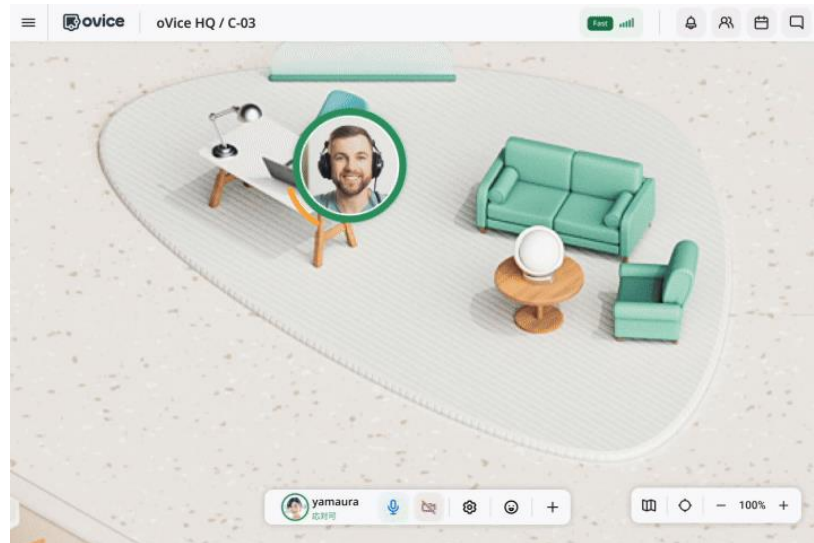
DEX - デジタル従業員体験の変革



Source: Gartner
© 2024 Gartner, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved. 2740291

Gartner®

現実のようなコミュニケーションができる2次元の“バーチャル空間”



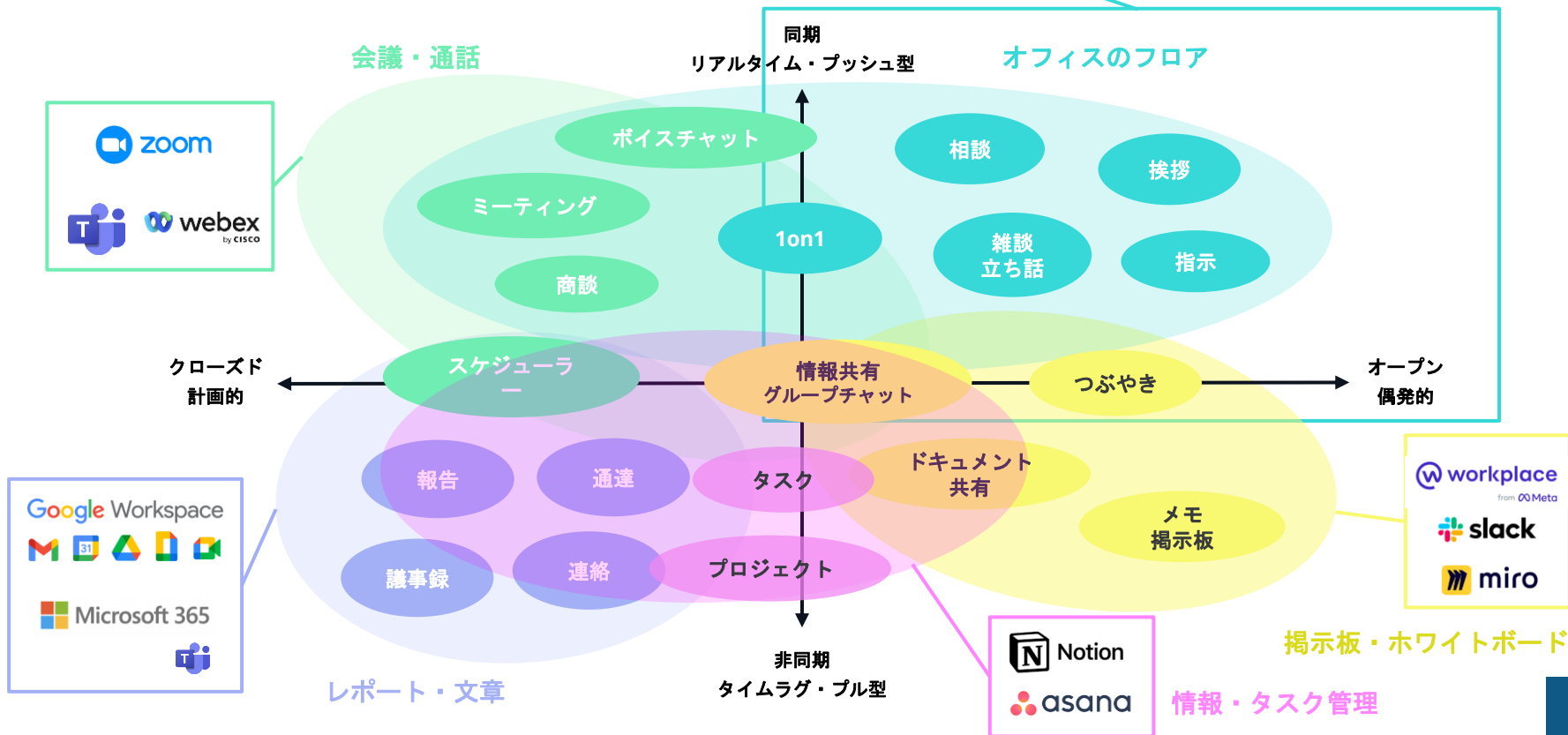
- 声かけ** アバターを近づけると声が聞こえる。離れると聞こえなくなる。
- 可視化** 誰と誰が話しているのか。誰がひとりなのか。各社員の現状が見える。

他のツールとの使い分けは？ オフィスにいれば関係ない？

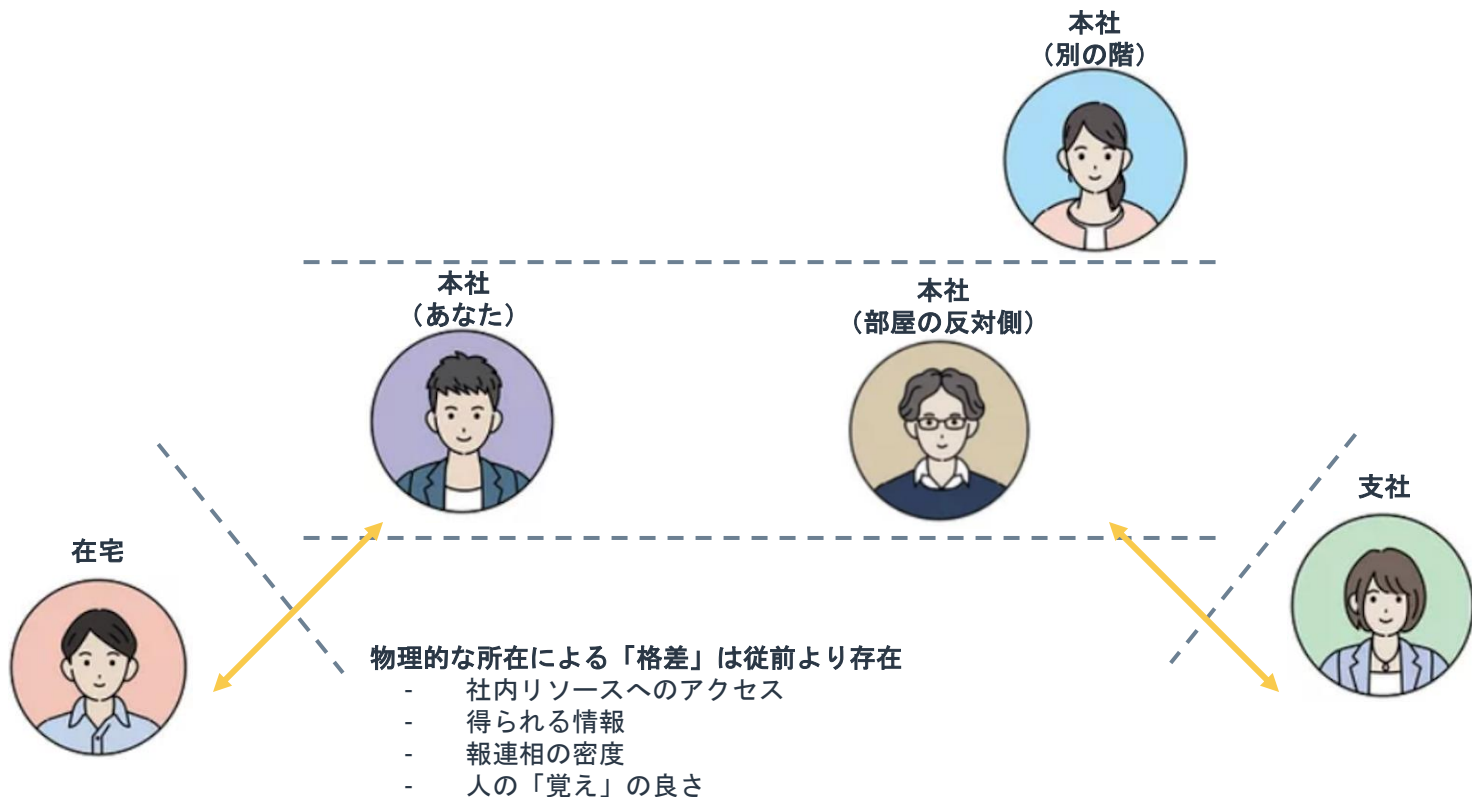


チャットやWeb会議ツールだけでは同期×偶発会話が失われやすい

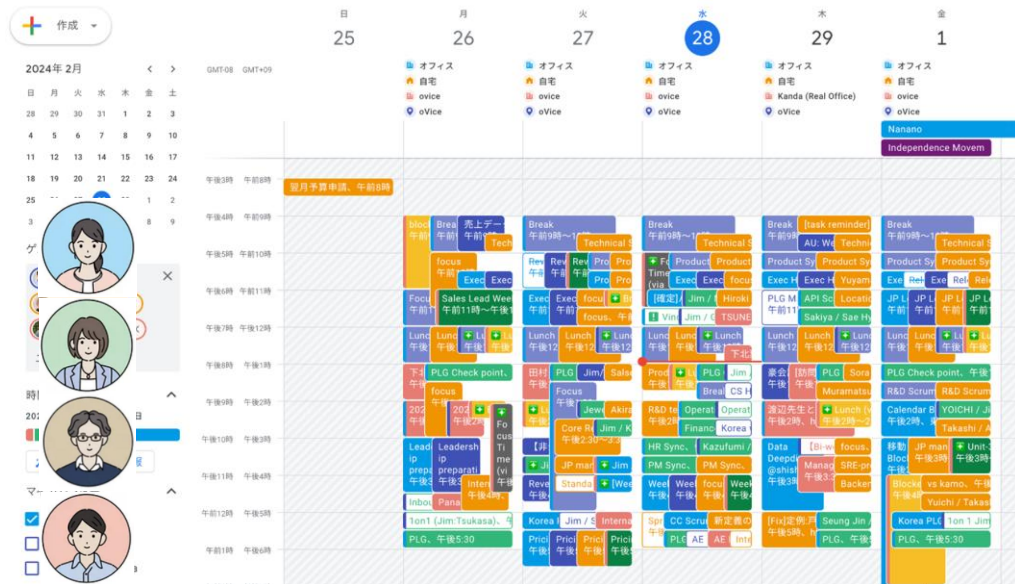
「気になったら“ちょっといいですか”と聞けばいい」と言われても、「わざわざ聞きづらい」のが本音



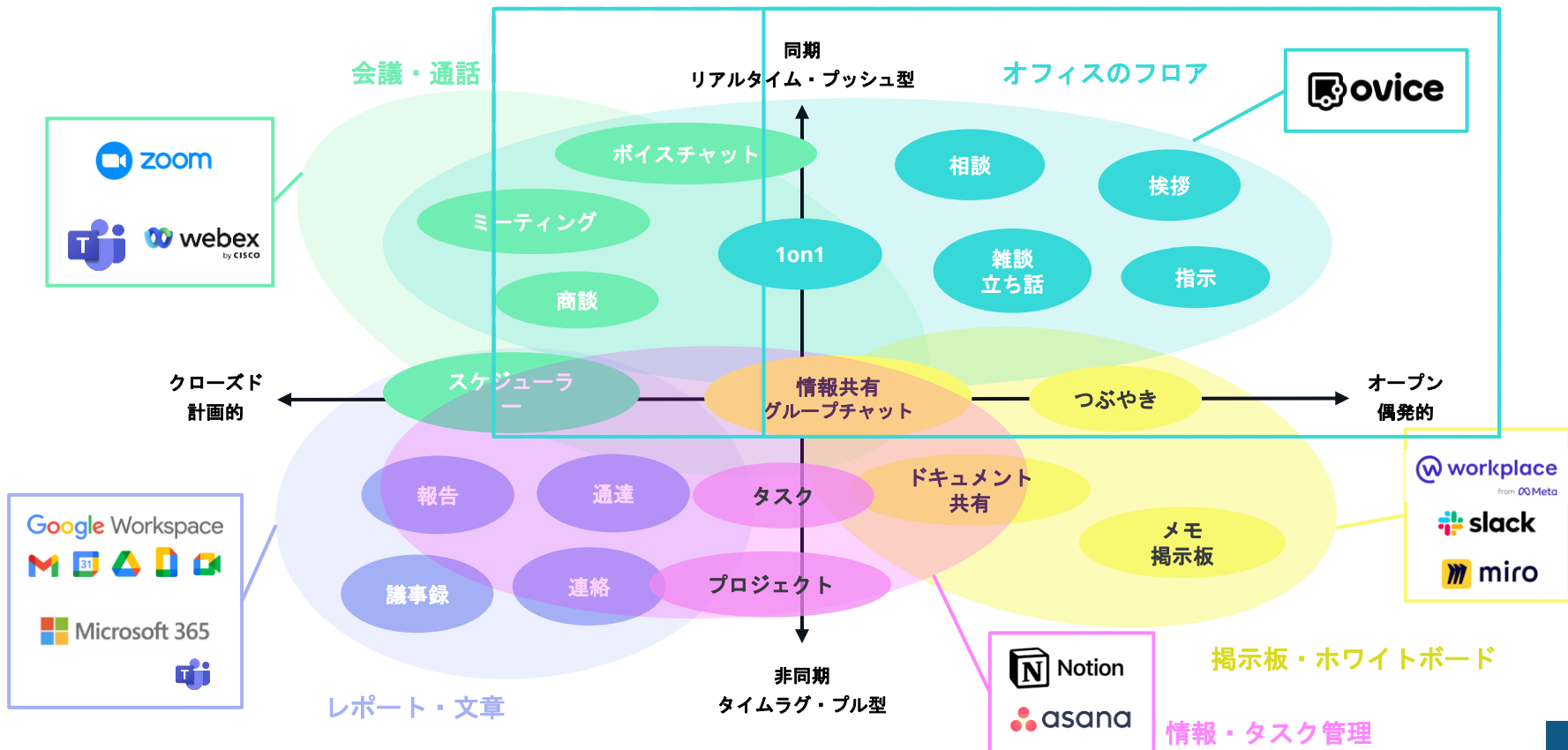
... 実は（自分から見える人以外）全員リモート状態



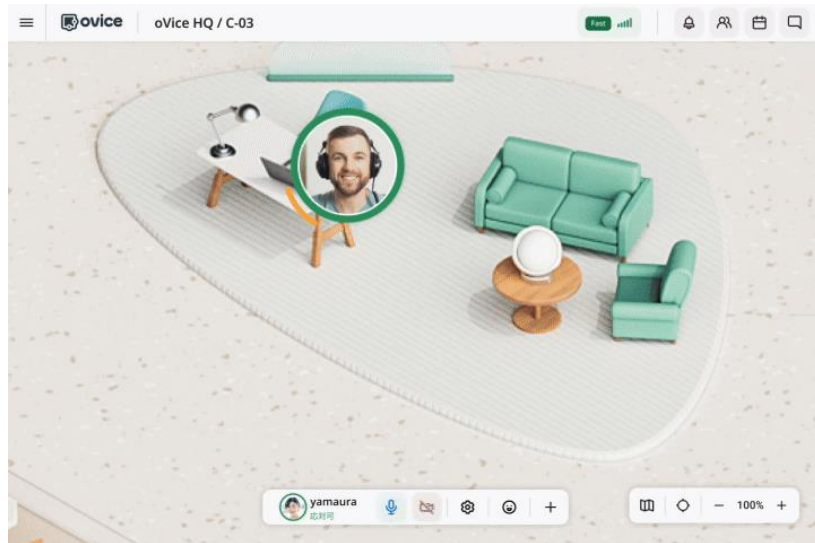
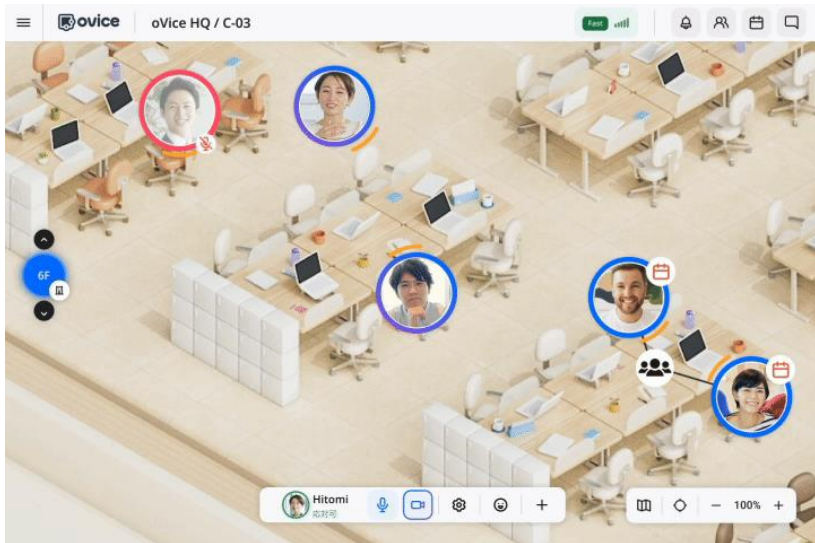
... 実は（自分から見える人以外）全員リモート状態



ovice = 物理的制約を無くしたデジタルワークスペース



現実のようなコミュニケーションができる2次元の“バーチャル空間”



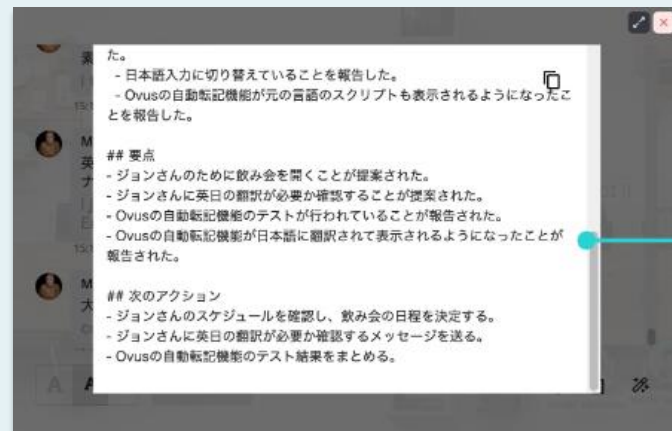
×



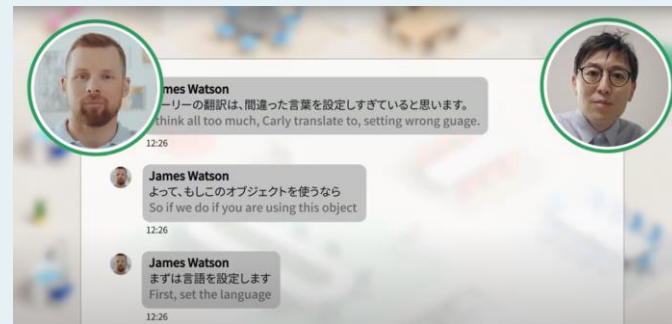
声かけ アバターを近づけると声が聞こえる。離れると聞こえなくなる。
可視化 誰と誰が話しているのか。誰がひとりなのか。各社員の現状が見える。

リアルよりもoviceで 会話をする方がよいメリット

- 1 議事録を自動生成することによる生産性の向上
(時間の削減)
- 2 Chat GPTを活用(連携予定)してボタンひとつで簡単に
議事録の校正とサマリ化
- 3 自動翻訳機能により居住地、言語にとらわれない
人材採用や真のWork from anywhereを実現



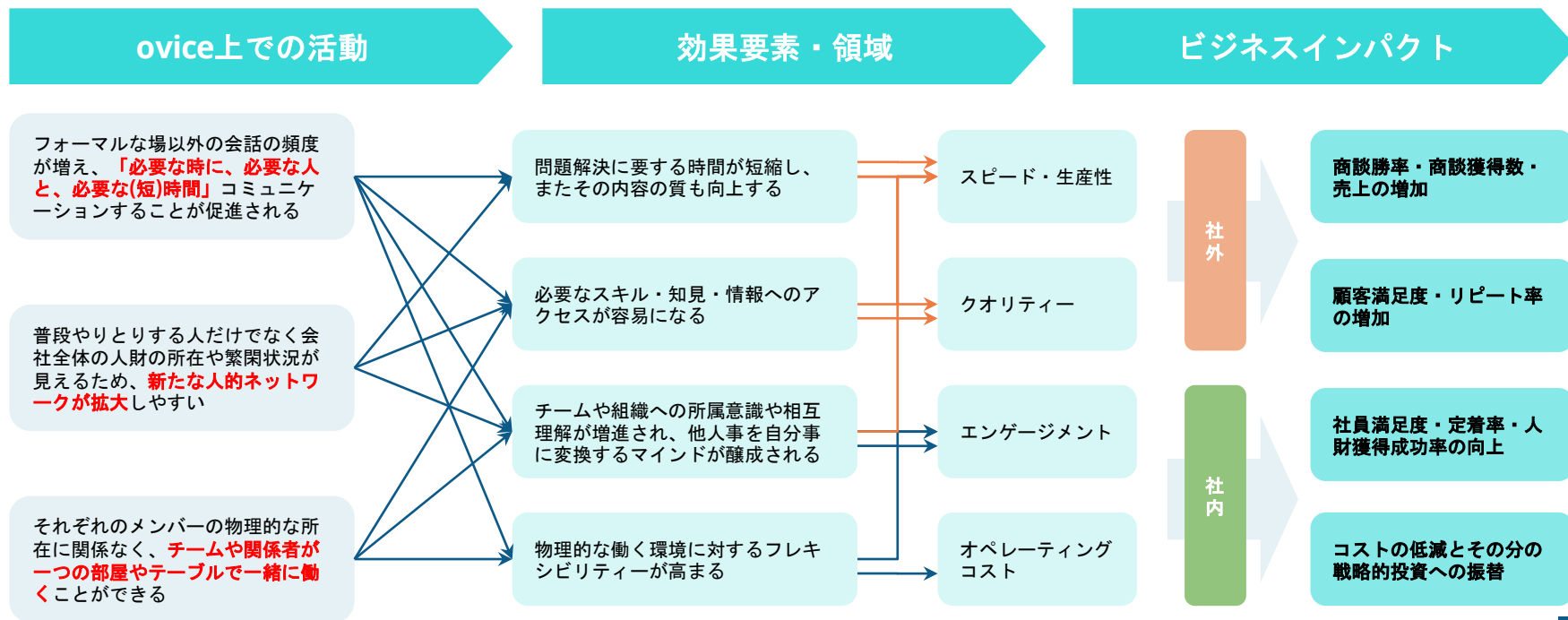
AI議事録+chatGPTを活用した
99.8%精度の議事録生成



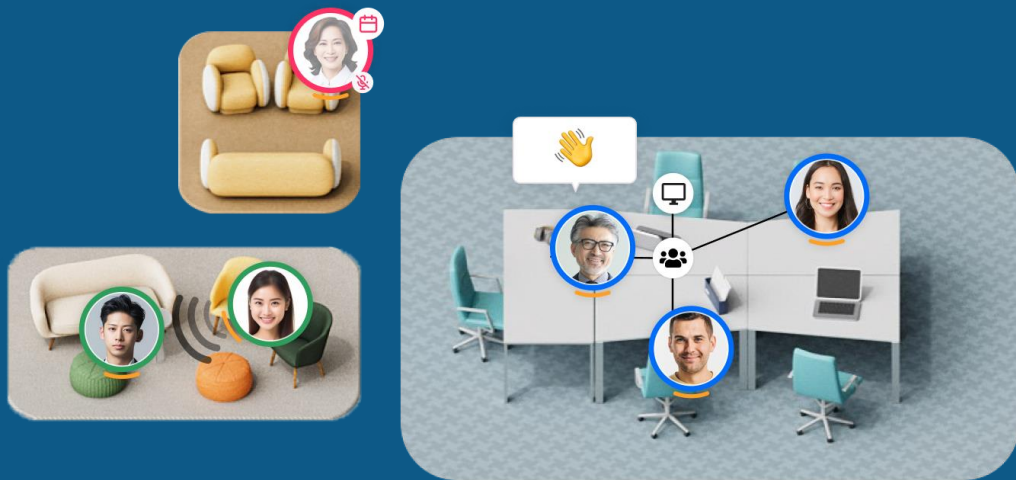
文字起こし連携による自動翻訳機能

oviceで期待できるビジネス上のインパクト

コミュニケーションやコラボレーションが増える「話しかけ（られ）やすい機会が増える」ことで、
チーム内外の**知見や情報の流通**が促進され、**判断が早く行われ、顧客対応力・業務遂行力が高まっていく**という顧客の効果実感を確認



実際にリモートでもイノベーションを 起こし続けている企業様の成功事例



オフィス導入事例



✓ oviceを導入した背景

- ・ 移動時間を削減する為に全国の拠点を閉鎖した
- ・ メンバーの一体感やコミュニケーションを取る場を誰でもアクセスできる環境に作る為

✓ ovice導入による効果

- ・ これまでリアルでもあまり会わなかった人とコミュニケーションを取れるようになった
- ・ オフィス通勤に使っていた時間をプライベートの時間に当てられるようになったので、社員のエンゲージメントが上がった

バーチャルオフィス
カテゴリ 満足度

No.1

有料登録ユーザー数

180,000人

利用企業数

4,000社



まとめ

まとめ

従業員エンゲージメント&満足度を向上し、
組織の生産性や業務効率を高め、
それを顧客に還元し、ビジネスに貢献する、という
好循環のために、「デジタルワークスペースへの入社」と
いう最新の働き方は一つの有望な選択肢となりうる



oViceは、みなさんがoViceの上で活動することによって、
失われてしまったビジネスのスピードを取り戻し、
組織としての「共に前に進む力」を自然に誘発させることのできる
「新しい働く場所」として多くの企業にご利用いただいています。



公式ページ

<https://www.ovice.com/ja>



無料トライアル

<https://app.ovice.in/trial-form/ja>



説明会

<https://www.ovice.com/ja/briefing-list>

今なら！ *対象条件あり

人材確保等支援助成金 (テレワークコース)で 最大95%オフでoViceの導入が可能に

これを機に自社のテレワーク環境を充実させませんか？

<https://www.ovice.com/ja/telework-support>

